

S A T O SABURO

佐藤 三郎

教授

主研究
テーマ

「産学連携による地域創生及び地域活性化に関する研究」
 「地域課題解決を目指した実践的教育プログラムの開発」
 「イベントを活用したボランティア養成プログラムの開発」

〔キーワード〕 産学連携、ビジネスプランコンテスト、ボランティア・リーダー養成



産学連携活動はボランティア活動の先(咲き)にある。

研究紹介

◆研究概要

1994年4月に赴任してから早くも23年目を迎えました。着任当初は理工学部電気電子工学科に所属し、主にプラズマ理工学や高電圧工学を担当しました。2001年に科学技術共同開発センターに転出し産学官連携に軸足を置き、翌2002年からベンチャー教育(地域課題解決を目指した実践的教育)を実施しました。2003年からはビジネスプランコンテストを開始し、2005年には九州産業技術活性化センターの補助金を得て、佐賀県下の高校や高専に呼びかけ、改めて「第1回佐賀ビジネスプランコンテスト」を開催しました(2015年に10回目を迎えたことを機会に終了)。

◆産学連携型教育プログラムの開発

学生を対象とするインターンシップとビジネスプランコンテストを組み合わせた教育プログラムを開発し実践してきました(図1)。本プログラムを通じて、学生は体感的・学術的に企業の仕組みやビジネスマインドを在学時に学ぶことができます。また、協賛企業も学生の意見や行動の分析によって、商品開発や職場環境改善の見直しなどメリットを見出すことができ、両者がWIN-WINの関係を構築できます。



図1 プログラムのフローと概略

◆産学連携事業の紹介

佐賀大学は地域における地(知)の拠点として、産業界や地域の自治体・市民との連携のもと、本学が有する多様な知的資源の活用・社会への還元を積極的に行っています。

○医工連携プロジェクト

医学部の教員・職員の持つニーズ(あるいはシーズ)を地域企業に紹介し、地域企業と共に医療・介護・福祉関連商品の開発を行っています。本プロジェクトの1つとして交通事故調査委員会があり、学内の様々な部局教員の連動を図りながら、佐賀県の交通事故件数・事故死件数6年連続ワーストワン(年間、人口千人当たり)を返上する取組を進めています。

○「COC/COC+」プロジェクトとの連携

地域と連携した授業を積極的に実施すると共に、佐賀県内に残る学生を1人でも増やそうとするプロジェクトです。これに連携して「やりたい事の出来る社会の面白さを知ろう」と題した授業を企画し、県内企業とその関係者20数名に入れ替わりで参加頂き、地元企業を学生にPRしています。

○公開講座：明治維新150年記念「佐賀ものづくり史を紐解く」

佐賀県内の100年企業の創設当時の話を聞きながら明治の遺跡を巡る社会人向け講座です。解説の講師陣には佐賀大学名誉教授にお願いし、豊富な知識で佐賀の明治維新にタイムスリップします。

◆ボランティア活動と教育への展開

趣味のジョキングを生かして、市民ジョキングクラブ(ランニング・ドリーマー佐賀：会員50余名)の運営、盲人ランナーの伴奏(20年間継続)、ジョキング大会の企画運営を行っており、年末には、本学本庄キャンパスジョキング大会(30km, 20km, 10km)を開催しています。この大会は本学構内で実施することで地域の皆さんに「開かれた佐賀大学」を感じていただくと共に、教養教育インターフェース科目として、学生の企画を大幅に取り入れ、ボランティア精神涵養とボランティア・リーダー養成を目指しています。

掲載情報 2018年2月現在

地域企業へ
一言アピール

佐賀大学には7,000人の学生と700名の教員(職員合わせて2,000人)のマンパワーがあります。地域企業様の課題に対し、きっと何かでお役に立てると思います。コーディネーターを務める私にお声掛け下さい。